

## 大学案内が出はじめました

6月には、多くの大学の大学案内が完成し、配布されてきています。また、7月には大学の募集要項が出はじめるようになります。大学のHPでおおよその情報がわかりますが、やはり紙の大学案内の方が、じっくり読むことができるので、よりイメージは湧きやすいと思います。テレメールなどを使うと、まとめて複数の大学の大学案内を手に入れることができ、便利です。

さて、この時期は各大学の担当の方が、新しい大学案内を持参して来たり、こちらから大学の説明会に行くことが多くなります。そこで聞くのは、やはり少子化がすすみ、大学に入りやすくなっている、ということです。もう少し具体的に言うと、より難しいとされている大学が合格しやすくなったことで、中堅の大学が合格者を出しても、入学してもらえない、ということがより顕著に増えている、ということのようです。ですので、大学によっては、これまで以上に合格者を出していかなければならないかも、ということですね。なお、合格者と入学者のデータは、よい大学であればちゃんとHPに掲載していますし、予備校などで分析しているデータもあります(気になる人は担任もしくは進路課まで)ので、参考にしてみてください。

このような状況を好意的にとらえれば、志望校を目指しやすくなってる、ということですが、逆にとらえると、大学に入学したけれど、同級生が少なかったり、思っていた以上に同級生のレベルが・・・ということだって起こりうるということです。

## 大学入試難易度ランク表も出はじめました

今年の各社による大学入試難易度ランク表もこれから各社出てきます。大学選びの重要な参考になりますが、一応、その見方について、簡単に言っておきます。まず、大前提なのが、これらの表は、「**それらの会社の模試で、どれぐらいの偏差値であれば、合格確率が50%になるか**」ということを示しています。ですので、自分の志望校を見て、自分がその会社の模試でとった偏差値が上回っていれば、今のところ合格確率が50%以上なんだな、ということがわかるだけです。それだけ。

表の下の方に(小さく)書いてありますが、この表は、別に大学そのものの価値を示しているわけではありません。

例えば、当然A大学の工学部より、B大学の理学部の方が難易度が高いからといって、B大学の方がいい大学というわけではないことはわかりますね。ランク表を見る際、頭の中に入れておいた方がいいことをちょっと挙げてみます。

・その大学の**希望者が増えれば、難易度は上がるし、希望者が減れば、難易度は下がる。**

→これは、事件や天災の影響は大きいです。そういえば、いろいろな事件があって、受験生が減った大学がありましたね。

・大学・学部の**入学定員が少ない方が、大学の合格確率は下がる=難易度が上がる。**

→特に、近年、推薦入試で定員を満たして、一般入試の合格者を減らすことで、入学難易度が上がり、ランク表の上位に来るようにしている大学があるのではないかと、という話をよく聞きます。本当かどうかはわかりません。

ただ、もしそういう大学であれば、一般入試の難易度が高くても、同級生の学力はバラバラになると思うのですが。

・大学・学部の**入試科目が少ない方が、希望者は増える傾向にあるから、大学の合格確率は下がる=難易度が上がる。**

→科目数を減らすことで、受験生を増やしたい、という大学の意向が強そうです。

あと、ランク表で国立大より公立大が高めに来るのは、科目数が少ないことが多いです。

・当然、同じ大学であっても、学部・学科によって希望者の多い・少ないはあるので、難易度はバラバラ。

→○○大学は、△△学部は厳しいけど、◇◇学部なら合格しそう、という話もよくありますね。

大学の価値(という言い方もよくないですね。魅力・特色といった方がいいかも)をみるうえでは、

・**教育内容**(本来、これが重要。例えば、**カリキュラム**がどうなっているか、**教授陣**がどんな人たちが、**資格取得等**はどうか)

・**設備など**(理工系学部であれば、どんな**設備**があるかは重要。文系であれば、やっぱり**図書館の蔵書数**は気になる)

・**OB・OG**がどんなところで活躍しているか。(就職率は参考程度です。学生数が多いところは就職率は高くないです)

・**資金力**(あまり気にしていなと思いますが、やっぱり**国からの交付金**が多い大学は魅力的と言っていていいでしょう)

などがあります。つまり、ランク表の上にあるからいい大学、下にあるからいまいちというわけではないですよ、ということ。

ランク表はあくまでも、自分が目指す大学に合格するための目安を得るためのものです。

もちろん、**難易度ランク表は、今どんな大学が人気か**、ということを知ることができるものでもあります。王様のブランチャや、CDTVみたいなもの。考えようによっては、今一番人気の大学を目指す、という手もないわけではないです。もちろん、それなら東大・京大・早稲田・慶應を目指す、ということになるわけですが。

## 特徴ある地方国公立大学を調べてみようシリーズ

昨年もう少し丁寧に書きましたが(去年の進路室の窓からNo.4)が、地方国公立大学について、あまりイメージが湧かないと思うので、特徴的な地方国公立大学の学部や学科を紹介しようというシリーズです。

当然ながらすべての大学を紹介することは不可能ですし、これらの大学を特におすすめしているわけではありません。偏差値のランキングや、知名度だけでなく、**大学の歴史や立地している地域、学部の特徴といった視点から大学について調べてみるのはどうですか?**というご提案です。なお、ここで紹介している内容は、全て正しい情報であるとは思わないでください。みなさんも独自の調査で面白そうな大学・学部を発見してみませんか?面白い大学を見つけたら、進路課まで教えて欲しいと思います。

### 広島大学の教育学部は旧文理大をルーツ

広島大学は、広島にあったいくつかの学校が統合されて、1949年に新制大学として設置されました。その中心となったのが1929年に設置された**広島文理科大学**です。この文理科大学とは、中等学校教員(今でいうところの高校教員ですね)の養成を目的とする学校で、戦前には**全国で二校しかありません**でした。もう一校は**東京文理科大学**です。ちょっと横道にそれますが、東京文理科大学は、1949年の新制大学設置時に、いくつかの学校と統合して**東京教育大学**になります。この東京教育大学は、その後筑波郡桜村(現つくば市)に移転して、**筑波大学**となりました。

そういう経緯があるので、**広島大学と筑波大学は、旧二文理大**という呼び方があります(旧帝大とか、ナンバースクールとか、旧三商大といった呼び方:おまけ参照)。「**教育は東の筑波、西の広島**」と呼ばれるのは、こういう背景があるからなんです。

さらに、広島にあったいくつかの師範学校も統合したことにより、**広島大学教育学部**は、以前説明したような「教育学」と、「教員養成」の両方のルーツをもっています。言ってみれば、**名古屋大学教育学部**と、**愛知教育大学**の両方の要素が広島大学の教育学部にはあるということです。なかなかこういった大学はない、というのが広島大学教育学部の売りです。

特に今回は教育学部を中心に紹介しましたが、現在、**広島大学は、北海道大学、九州大学と並ぶ、国立では最多の12学部**があります。実は先日、広島大学の見学に行き、入試担当の先生からもいろいろ説明してもらいました。興味深かったのは、文理科大学からの伝統ある**理学部**(特に**物理**など)が優れていることや、**生物生産学部(いわゆる農学部)**が「**葉っぱもの以外**」を得意としている、という話でした。ちなみに、この「**葉っぱもの以外**」というのは「**水産**」や「**畜産**」だそうです。広島大学に限らず、特に**工学部**や**農学部**などは、**大学によって得意分野があるので、調べてみるとよい**ですね。

こうやって、広島大の特長をあげましたが、**デメリット**もあります。**広島大学の最大のデメリットは立地**です。キャンパス自体はとても広くてきれいなのですが、なにしろ**広島市街から遠い**。筑波大学もかなりの田舎にありますが、それ以上に田舎にあります。周辺にもあまりお店はない感じ。さらに、付属小・中・高は広島市内にあるので、教育実習はちょっと大変そうでした。

大学見学に合わせて、磐南の卒業生にも会って話しましたが、やはり生活は田舎暮らしだけど、勉強は充実してるという感じてました。実際、キャンパス内は本当に活気があり、ちゃんと勉強して、遊んで、という雰囲気があるいい大学でしたよ。

### おまけ 旧制の官立大学や、その他の呼び名について

旧帝大はよく知られていますが、他にも伝統ある大学のくくりがあります。ちなみに、**旧帝国大学**とはどこなのかちゃんと言えますか?ちなみに、現在の「旧帝国大学」の大学は7つですが、「**帝国大学**」は9つありました。そういうのも興味深いですね。

以下、伝統校のくくりの例を紹介します。今ではそれほど重要な意味のある指標ではないかもしれませんが、先ほどの**旧二文理大(筑波大・広島大)**なども合わせ、大学にはいろいろなルーツがあるんだな、と思ってもらえれば十分だと思います。

「**旧三商大**」:旧制の商科大学をルーツとする大学

東京商科大学→**一橋大学** / 神戸商業大学→**神戸大学** / 大阪商科大学→**大阪公立大学**

「**旧六医大**」:旧制の医科大学をルーツとする大学

千葉医科大学→**千葉大学** / 金沢医科大学→**金沢大学** / 新潟医科大学→**新潟大学**

岡山医科大学→**岡山大学** / 長崎医科大学→**長崎大学** / 熊本医科大学→**熊本大学**

「**ナンバースクール**」

ナンバースクールというのは、1949年以前の旧制高等学校のうち、初期に作られた**第〇高等学校**と数字が振られたものを指します。これらは第八高等学校までありました。特に正式な呼称ではありませんが、伝統校のくくりの一つだと言えます。このナンバースクールは新制大学が整えられた際、旧帝国大学や国立大学に組み込まれていきました。

第一高等学校=東京大学 / 第二高等学校=東北大学 / 第三高等学校=京都大学

第四高等学校=金沢大学 / 第五高等学校=熊本大学 / 第六高等学校=岡山大学

第七高等学校造士館=鹿児島大学 / 第八高等学校=名古屋大学